

平成18年度「専修学校社会人新キャリアアップ教育推進事業」成果報告書

事業名

個人輸入とITを活用し、就業の条件が限定される人たち向け教育プログラムの開発と実践

法人名

学校法人 斐川コア学園

学校名

出雲コンピュータ専門学校

代表者

理事長 門田 章

担当者
連絡先

事務長 石川 知幸
TEL 0853-72-2500

1. 事業の概要

インターネット活用方法のひとつである「個人輸入」を教材に、インターネットによる海外発注から決済までの基本的な知識、またそれに伴い必要となるオンライン決済方法、セキュリティなどを本校が教育テーマとして取り組み、輸出入を利用して販売機会の拡大を目指す人、または就業時間に制限がある等の理由で就職が困難な人達のためのスキルアップを可能とするカリキュラムを開発する。

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

本県のような地方県であっても、情報インフラの整いつつある現状からITやインターネットを活用し、スキルを磨けば地域を越えて成り立つ事業があるはずである。

このような観点から、インターネット活用方法のひとつである「個人輸入」を教材にし、海外受発注に伴うあらゆるスキルアップを教育テーマとして取り組むこととし、そのために実証講座「輸入ビジネス基礎講座」を開設する。その中で、PC基本操作にはできるだけ時間を掛けずに、本来の目的である個人輸入に焦点をあて、輸入商品の選定から購入及び入荷に至る一連の実務手法を修得する。さらに、ネットショップサイトを構築し販売するまでの実務手法も修得する。また同時に、広く知識、能力を広めることと、島根県におけるITを活用した輸出入の活性化支援という二つを目的としている。

②事業により得られた成果

本事業の実施当初から予想されていたことではあるが、企業へのアンケート結果からも伺えるように、貿易実務の知識、技能をスキルとして島根県下の企業に就職を目指すには、現段階ではそれほど多くの就職先は望めないようである。一方、個人へのアンケート結果からは、社会のグローバル化に対応して貿易実務の知識、技能を身につけようとする姿勢がハッキリと出てきていると思われる。特に今回の受講生の募集条件を団塊の世代、もしくは子育てを終えてきた主婦層としたため、起業、それもネットショップなどを活用したリスクの少ない起業を希望する人が多い傾向が出ている。

このような個人ひいては地域のニーズに応える輸出入の手順からネットビジネスの実際を如何に伝えたら良いかの教育手法が得られたことは、本事業の大きな成果であったと考える。

③今後の活用

本事業の実施を通じて、貿易（輸入）実務の教育のためのカリキュラム構成講師体制、本校の授業の支援体制（ジェトロ、商工会議所、商工会、企業）などの授業体制を準備することが出来た。前述のアンケートによる調査結果などをふまえ、今後は本校の商業実務のコースである総合ビジネス科ネットビジネスコースのカリキュラムに貿易実務の知識、技能を組み込む準備を進めていく。

また、事業を担当した講師陣の印象では、受講生は大変授業を楽しんでくれたよう思われる。本校は、おもに職業指導を行う専門学校ではあるが、資格取得、理論を中心とした詰め込み教育では学生も疲れるようである。従って、今回の事業成果を実践的で面白い授業としてさらに磨きをかけ、本校の関連校（コア学園グループ）他にノウハウを伝達していきたいと考えている。

同時に今後、本校の出前講座としての例えば「輸出入ネットビジネス講座」（仮称）などを開講し、本事業で培った教育プログラム等を活用し、広く知識・技能を伝搬することによって、ひいては島根県におけるITを活用した輸出入の活性化に貢献したいと考えている。

④次年度以降における課題・展開

本事業の成果を本校の授業に取り込むには、より良い授業にするために実施しなければならないことも含めて、まだ多くの課題を残している。具体的には以下の通り。

- a. 近隣の企業に必要とされる実務能力がはっきりしないため資格のレベルが決めにくい
- b. 基礎教科と専門教科の授業時間のバランスと目標成果にもう少し調整が必要だった
- c. 通関情報提供システムなどの教育への対応がコスト的に難しい
- d. コンピュータによる翻訳の教科に良い教科書が見つけれなかった
- e. セキュリティ、犯罪事例などリスク回避の授業の強化が必要
- f. 講座の初期の段階で個々の教科の受講生の成果目標として、資格・検定などハッキリした設定をする必要性がある
- g. 決済、輸送などにもっと多様な実習を取り入れたい（実習環境の充実に工夫が必要）

3. 事業の実施に関する項目

①キャリアアップ講座の実施

「個人輸入」を教材とした教育プログラム開発の目的のために「輸入ビジネス基礎講座」を開校し、受講生のスキルの修得状況を把握しながら、プログラム開発の試行を試みた。

講座期間は、平成18年12月18日（月）から平成19年2月23日（金）までの、1日6時間合計240時間を実施した。

講座実施に当たり、個人（社会経験のある出産、育児により離職した女性、主婦、または団塊の世代を迎えた人）と地元企業（斐川町商工会会員企業、出雲商工会議所会員企業、平田商工会議所会員企業）に対してニーズアンケート調査を実施。個人からは456人中134人、企業からは1544社中314社の回答を得ることが出来、集計した結果をカリキュラムに反映させた。

②講座の内容

本講座（輸入ビジネス基礎講座）の進行手順及び内容はおよそ次のとおりである。

- i. 本講座に必要とされる最低限のパソコン基本操作
- ii. ネット検索術及びネット翻訳ツールの活用
- iii. 写真撮影技術
- iv. カードによるオンライン決済と認証の方法
- v. ネットワークセキュリティソフトの設定、構築と操作
- vi. ネットショップ販売のための開設、運営方法、決済方法の種類と実務
- vii. 貿易実務基礎の修得
- viii. 個人輸入の実務演習
- ix. ホームページ作成の実際と個人Webページのアップ方法
- x. 成果報告資料の作成準備及び成果発表会の実施